

第2学年英語科学習指導案

令和6年10月29日(火) 3限
大分市立大東中学校2年11組
指導者 藤川 敬天

1. 単元名 AL Tがおすすめする国や場所についてのエッセイの内容を読み取ろう
(NEW CROWN ENGLISH SERIES2 Lesson 4 Uluru)

2. 単元について

(1) 教材について

本教材は、オーストラリアを題材にしたものであり、その地域性や世界遺産のウルルについて学ぶことができる内容となっている。地理的及び歴史的特徴を述べる構成となっている英文は、単元のゴールであるAL Tがおすすめする国や場所についてのエッセイの内容を読み取ることができるようになるための練習題材として適していると考えられる。また、先住民であるアナング族にとって、ウルルは先祖を象徴する神聖な場所となっているが、観光客による無断での石の持ち帰りやゴミを捨てて帰る等の行動により、アナング族の気持ちが踏みにじられてきたという歴史がある。近年の登山や写真撮影禁止など、アナング族の気持ちに寄り添った対応が取られている背景を通して、現地の人々の思いについて深く考えるとともに、異文化理解の大切さについても考えることができる読み物教材であると言える。

言語材料としては、<動詞 (give など) +A+B>と<動詞 (call, make など) +A+B>を学習する。Lesson2で学習した不定詞や、Lesson3で学習した [There is (are)…] や動名詞の表現とあわせて、興味のある国について説明するときに使われる言語材料であると考えられる。

(2) 生徒について

8月に行った英語アンケートにおいて、「英語が好きである」と肯定的に回答した生徒が73%となっていることから、本学級では、比較的英語に前向きな生徒が多いことが分かる。また日ごろの授業においても、お互いに助け合い、授業に取り組もうとする雰囲気も醸成されている。

4月に行われた大分県学力定着状況調査の結果を見ると、教科の正答率で目標値及び全国平均を上回っている。一方、領域別正答率では、「読むこと」の正答率が市の平均値57.6に対して、56.8で-0.8pであり、「聞くこと」が+0.2p、「書くこと」は-0.5pであったことから、「読むこと」にやや課題が残る結果となった。前述のアンケートにおける、「英語の授業の中で好きな活動や苦手な活動は何か」という質問に対しても「読む活動」が好きと答えた生徒は41.8%、「苦手である」と答えた生徒は47.2%であり、「苦手である」と答えた生徒が上回っている。「読むこと」が苦手な生徒が多い理由としては、単語の意味が理解できず、読む際の心理的障壁となっていることや文のどこに着目して読めばよいのかが分からないため、その文の中のキーワードやおおまかな内容を捉えることが苦手であるということが挙げられる。また、最初から読むことを諦めてしまっている生徒も2割程度いる。

(3) 指導について

上に述べた生徒の課題に対応するため、下記4点を意識しながら指導に当たる。

①単元を通したテーマ (大ゴール) の設定

単元の最後に「AL Tがおすすめする国やその理由についてのエッセイの内容を読み取ろう」というテーマを設定し、AL Tのエッセイ内容を読み取ることができるようになるための題材として、オーストラリアやウルルについて書かれている本文内容を読み取る経験を重ねていく。生徒と読む必然性を共有することで、英語を苦手と感じる生徒でも長文の読解に主体的に取り組むことができるようにしたい。

②語彙等の定着のための指導の工夫

語彙や学習した文法事項の定着を図るため、帯活動を活用し、レッスン4で学習する語彙について、毎時間ペアによる input 活動を行う。また、本文読解のポイントとなる新出語句を画像と合わせて練習し、英語を苦手と感じる生徒もまとまりのある文章を諦めずに読むことができるように支援したい。

③読むことへの関心を高める工夫

前時に学習した本文を音読する活動を通して、前時の学習内容と本時の学習内容をつなげる工夫をする。

また、本文を読ませる前の活動として、本文の場面や設定の確認や観光するとき気を付けることはどんなことかなどについて生徒とやり取りを行うことで、観光について書かれた本文を読むことへの関心や意欲を高める。

なお、生徒の読むことに対する抵抗が無くなるように、週2回程度 Reading Marathon と称した100語程度の長文読解の活動を行う。

④概要を捉える際のポイントの共有

生徒が文章の概要を適切に捉えることができるようになるために、読む際のポイントについて単元を通して指導していく。特に、ポイントの一つである各段落の情報の関連付けの際には、思考ツールを用いてキーワードをまとめさせることで、情報を視覚的に捉えさせたい。また、「一語一語にとらわれすぎないこと」や「各段落の1～2文目をまず読むこと」等のポイントについても継続的に指導していく。

3. 単元の目標

ALTがおすすめする国やその理由について知るために、オーストラリアやウルルなどの国や世界遺産を紹介している教科書の内容を読む活動を通して、ALT が書いたおすすめ国についてのエッセイの概要を捉えることができるようにする。

4. 関連する学習指導要領における領域別目標

読むこと	イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。
------	--

5. 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<知識> <動詞 (give など) +A+B>、<動詞 (call, make など) +A+B>の特徴やきまりについて理解している。 <技能> <動詞 (give など) +A+B>、<動詞 (call, make など) +A+B>の意味や働きの理解を基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。	ALTがおすすめする国やその理由について知るために、国や世界遺産について書かれた文章を読んで、その概要を捉えている。	ALTがおすすめする国やその理由について知るために、国や世界遺産について書かれた文章を読んで、その概要を捉えようとしている。

6. 指導と評価の計画（7時間扱い）

○指導に生かす評価

◎記録に残す評価

時間	ねらい（■）・主な言語活動等（○数字）	知	思	態	評価規準 【評価方法】
1	<p>■教科書本文の内容を理解する。</p> <p>①単元のゴールでALTのおすすめの国やその理由について読むことを知る。</p> <p>②オーストラリアについての陸とケイトの会話を理解する。</p> <p>③〈動詞（give など）+A+B〉が本文の中でどのような意味で使われているのかを推測する。</p>	○			<p>〈知識・技能〉</p> <p>〈動詞（give など）+A+B〉の意味や働きの理解を基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。</p> <p>【記述分析】【行動観察】</p>
2	<p>■新出文法の意味や用法を理解する。</p> <p>〈動詞（give など）+A+B〉の用法を理解し、友だちにプレゼントとして何をあげるのかについて、即興で伝えたり、書いたりする。</p>	○			<p>〈知識・技能〉</p> <p>〈動詞（give など）+A+B〉の用法やきまりについて理解している。</p> <p>【記述分析】</p>
3	<p>■教科書本文の概要を捉える。</p> <p>①ウルルについて紹介しているケイトの文章を理解する。</p> <p>②〈動詞（call,make など）+A+B〉が本文の中でどのような意味で使われているのかを推測する。</p>		○	○	<p>〈知識・技能〉</p> <p>〈動詞（call,make など）+A+B〉の意味や働きの理解を基に、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。</p> <p>【記述分析】【行動観察】</p>
4	<p>■新出文法の意味や用法を理解する。</p> <p>動詞（call,make など）+A+Bの用法を理解し、どんなことが自分をうれしくさせたり悲しくさせたりするのかについて、即興で伝えたり、書いたりする。</p>	○			<p>〈知識・技能〉</p> <p>〈動詞（call,make など）+A+B〉の用法やきまりについて理解している。</p> <p>【記述分析】</p>
5 本 時	<p>■教科書本文の概要を捉える。</p> <p>①ウルルの既習内容について振り返ったり、観光について教師とやり取りしたりする。</p> <p>②段落ごとに思考ツールを用いて大まかな内容を読み取る。</p>		○	○	<p>〈思考・判断・表現〉</p> <p>《国や世界遺産について書かれた文章を読んで、その概要を》捉えている。【記述分析】</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度〉</p> <p>《同上》捉えようとしている。</p> <p>【記述分析】【行動観察】</p>
6	<p>■教科書本文の内容をより詳しく理解する。</p> <p>・ウルルでできること及びしてはいけないことや著者が本文で1番言いたいことはどういうことか等に注目して意見文を読む。</p>	○	○	○	<p>〈思考・判断・表現〉</p> <p>《国や世界遺産について書かれた文章を読んで、その概要を》捉えている。</p> <p>【記述分析】</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度〉</p> <p>《同上》捉えようとしている。</p>

					【記述分析】【行動観察】
7	<p>■ALTのエッセイ内容の概要を捉える。</p> <p>①世界の様々な国について写真を見たり、どんな国に行ってみたいか教師とやり取りしたりする。</p> <p>②段落ごとに思考ツールを用いて大まかな内容を読み取る。</p>			◎ ◎	<p>〈思考・判断・表現〉</p> <p>《ALTの先生がおすすめる国やその理由について書かれた文章を読んで、その概要を》捉えている。</p> <p>【記述分析】</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度〉</p> <p>《同上》捉えようとしている。</p> <p>【記述分析】【行動観察】</p>
後日	ペーパーテスト（単元テスト・定期テスト）	◎	◎	◎	

単元末に生徒が概要を読み取るALTがおすすめる国についてのエッセイ内容

There are many famous buildings in ^{イタリア}Italy. One is the ^{コロシム}colosseum. You can see it in ^{ローマ}Rome. It looks like a large stadium, but it is almost two ¹⁰⁰⁰thousand years old. Today it is a UNESCO World Heritage Site and many ^{観光客}tourists visit it every day.

The ^{ローマ帝国}Roman Empire built the colosseum. The Roman Empire was a big empire in ^{ヨーロッパ}Europe. It stretched from ^{England}England to ^{エジプト}Egypt. The ^{ローマ人}Romans used the colosseum like a big sports stadium. It had seats for over eighty thousand people. They watched people ^{決闘}fight and ^{狩猟}hunt animals. They could even ^{～でみたく}fill it with water like a bath tub, and watch ^{船戦}ship battles.

Since then, people used it as housing, a ^岩fort, and a ^{キリスト教徒の聖地}Christian Shrine. Now, it is a big ^{観光客向けアトラクション}tourist attraction in Italy. You can take a ^{ガイド付きツアー}guided tour and see the ^{アリーナ}arena yourself. There are also many ^{トンネル}tunnels ^{地下}underground. They were used to ^{使われた}store ^{貯蔵する}weapons and ^{動物}animals. It is very large and ^{複雑}complicated, so don't get lost! Famous singers perform concerts in front of it, too.

If you go visit, please respect Italy's history. Do not take any stones. Do not write something on the wall. Instead, let's enjoy history together. Walk around and explore the arena and ^{地方の}local ^{ローマの}museums. Roman history is very interesting. I hope you can go and have a good time.

〈219 words〉

7. 本時案 (5/7)

(1) 題目 ウルルとアナングの人々

(2) 本時のねらい ウルルを説明した英文について、思考ツールを使用して段落ごとに内容をまとめたり、読み取りのポイントを手掛かりとして読んだりすることを通して、概要を把握することができるようにする。

(3) 展開

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1. 帯活動 speed input	3	○レッスン4で学習する語彙のインプット活動に取り組ませる。 個人練習の後、ペアで活動させる。	
2. 前時の復習	4	○前時の内容についてタブレットを使用して音読練習させた上で内容について復習し、前時と本時の学習内容をつなげる。	
3. Pre-reading	3	○本時では、ウルルのガイドブックを読むことを伝え、ガイドブックにはどのような内容が書かれているかについてペアで考えさせることで本文を読む際のモチベーションを高める。	
4. 本時のめあてを確認する。	1	○単元のゴールを確認し、本時のめあてを位置づける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">ウルルのガイドブックの大まかな内容を伝えよう</div>	
5. Activities ①新出単語導入	3	○概要理解のキーワードとなる新出単語をその画像イメージとともに発音させることでイメージを掴ませる。	
②本文の概要を捉える。	30	○この話をまだ読んでいない人にどのように伝えるかという読む視点を与え本文を黙読させる。その際、以下の概要を捉える際のポイントを確認する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;">①各段落1～2文目を見ること。②一語一語に捉われすぎないこと。</div> <ul style="list-style-type: none">・早く読み終わった生徒には、読んでいない相手に伝える際のポイントとなる箇所にチェックをさせておく。 ○第1段落の概要を捉えさせ、全体で確認する。その際に、この話を読んでいない人に伝えるならどのように伝えるかという相手意識をもたせるとともに、教師が例を示す。 ○ペアで第2段落と第3段落のどちらをまとめさせるか役割分担させ、思考ツールを用いてそれぞれの段落の概要を把握させる。 <ul style="list-style-type: none">・苦手な生徒には補助プリントを活用させる。・中間指導として概要を捉える際のポイントを抑えるとともに、不明な語彙について確認する。・同じ段落を担当している生徒同士で内容を確認させる。・お互いに読み取った内容をペアで伝えさせる。	<p>(思・判・表)</p> <p>国や世界遺産について書かれた文章を読んで、その概要を捉えている。</p> <p>【記述分析】</p> <p>(主体)</p> <p>国や世界遺産について書かれた文章を読んで、その概要を捉えようとしている。</p> <p>【記述分析】</p> <p>【行動観察】</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・各段落1名ずつ指名し、内容を全体でおさえる。 ○4段落の内容について、全体で確認する。 ○本文全体の内容を30秒でまとめさせ、タブレットに録音してロイロノートで提出させる。 ・1名指名し、1～4段落のまとめを発表させる。 	
6. 写真並べ替え	4	○4枚の写真を物語の順番に並べ替えさせ、ロイロノートで提出させる。	
7. Reflection	2	○本時の学習の振り返りをさせる。	